

北名古屋版ファクトブック始める

この4月は、改正入管法が施行され、出入国在留管理庁が設置されるなど、新しい外国人材の受け入れ、多文化共生のための総合政策が、国を挙げて動き出しました。

今後、北名古屋も外国人との交流などの機会の増大が見込まれ、外国人や外国籍市民に、北名古屋の「素顔」を正しく伝え、彼らの文化を深く理解することが、ますます、重要になっており、その大きな力が「広報」と考えています。

協会は、本年度の重点事業として、協会を「市民が主役となる広報」をめざす広報拠点として体制を整え、昨年度作成した、「10年プラン」「北名古屋広報戦略プラン(外国人向け)」をもとに、「地域のこし」「地域づくり」「地域みがき」「地域じまん」を内外に発信していく考えです。

その第1弾として、「北名古屋版ファクトブック」がスタートします。「ファクトブック」は、企業や団体がメディア向けに、自社や自社の製品・サービスを理解してもらうため、沿革や業績・トップの経歴など、「ファクト=事実」を中心に構成した報道用の基礎資料とされています。ただ、協会のような公的団体では、先例のないまれな取り組みです。

協会は、「市民が主役となる広報」の実現をめざして、「北名古屋版ファクトブック」を、WEB上で立ち上げます。協会の「北名古屋版ファ

私のメインの仕事はヨガの講師です。ヨガとアーユルヴェーダはセットのようなもので、ヨガは心と身体が健康になっていくための大きな手となり、地域を挙げて「北名古屋を広報」していくツールとして活用します。地域を元気にする熱い思いの若者も参加します。市民が創る「ファクトブック」として、市民の投稿、大歓迎です。



KIIA 北名古屋市 国際交流協会会報

発行者 北名古屋市国際交流協会
Kitanagoya City International Association (KIIA)
〒481-8531 北名古屋市役所(西庁舎4階)
TEL 0568-22-1111(内線)2400

vol.35
2019. 11.

クトブックは、メディアだけに特化するのではなく、幅広く市民が担い手となり、地域を挙げて「北名古屋を広報」していくツールとして活用します。地域を元気にする熱い思いの若者も参加します。市民が創る「ファクトブック」として、市民の投稿、大歓迎です。

北名古屋市のプロモーション映像を制作

今年度、市の広報事業の一つとして、連携協定を結んでいる名古屋芸術大学と共に市の魅力を発信するためのオフィシャル映像を作ることになりました。映像の監修は、演出家で映画監督の堤幸彦さん。学生たちをまとめているのが、同大の水内智秀准教授と竹内創准教授。学生からは、市の魅力として『のどかさ』『暮らしやすさ』『多世代が暮らす』といったキーワードと同時に『個性的な場所や人もおり、ある種のギャップを感じる』『大学を中心としてクリエイティブな雰囲気もあるところも面白い』という意見が出ました。間もなく映像が出来上がる予定です。

この映像は、国内だけではなく、海外の人たちにも市をアピールできるように作られています。字幕(テロップ)を使うことで、各国の言葉に翻訳ができるますが、英語と中国語、韓国語を作る予定です。

市民の皆さんへのお披露目も予定しています(日程未定)。市の魅力を伝える第一歩になるものと期待しています。

国際理解講座

アーユルヴェーダと健康

講師 バット富士美さん

私のメインの仕事はヨガの講師です。ヨガとアーユルヴェーダはセットのようなもので、ヨガは心と身体が健康になっていくための大きな手となります。アーユルヴェーダといふのは、「アーネス」という言葉といふ生命という意味の言葉と、「ヴェーダ」という知識とか科学という意味の言葉が合わさって「アーユルヴェーダ」、生命の科学、生命の知識という言葉になりました。アーユルヴェーダには、「アーネタ」「ピッタ」「カバ」とあります。アーネタ」というのは「空間」と「風」を司る生命エネルギーで、「カバ」とは「火」と「風」。ピッタは「火」と「水」をミックシングして、全部の性質をまとめて「火」「水」の性質が強いかで、自分のタイプとなります。人は皆、全部の性質を持っています。その中で、どれだけ「風」や時間、季節、時

代、男女などそれぞれにも性質があります。時間が火の時間、2時から6時が風の時間、6時から10時が水の時間で、昼間の時間も夜の時間も同じです。特に昼間の火の時間はエネルギーが強いので、揚物などを食べるので、お昼がお薦めのなら、お昼がお薦めです。

時代の持つエネルギーもあって、今、『ヴァータ』と『風』と『ピッタ』と『火』の時代に来ています。『ピッタ』は『火』のエネルギーだから、競争心が強く、勝利を讃えます。『風』と『火』の時代は、みんなに負担がかかっている、辛い時代だと思います。

さて、体质の話に入ります。『ヴァータ』と『風』の人は、3つの中でも一番動きやすい人です。『風』の人は、新しいことが大好きで、これもやってみたい、それはいいところでもあるし、注意しなく

くてはいけないところであります。『ピッタ』『火』の人は、明るくて元気。ただ『火』なので、怒りやすい、イライラしやすいやがいが激しいので、ちょっと注意したいところですね。

男女でいつたらどうかというと、『ヴァーダ』は女性性、『ピッタ』は男性性、『カバ』も女性性です。女性は2個あります。『ヴァーダ』のほうは、かわいらしくて少しがいらしい印象。

肉体の部分で言うと、『ヴァーダ』は思考、宇宙とつながっているもので、『ピッタ』は消化力とか筋肉、心臓。その中でも代表的なところは消化力です。『カバ』はエネルギーはホルモンとか分泌物、子宮、腎臓です。

年齢の持つ性質もあります。子どもは『水』のエネルギー、30歳から65歳くらいまでは一番エネルギーで情熱のある『火』のエネルギー、65歳くらいからは、見た目から見ても身体も対応するの

いいし、身体も対応するの

あります。子どもの『水』のエネルギーで情熱のある『火』のエネルギー、65歳くらいまでは一番エネルギーで情熱のある『火』のエネルギー、65歳くらいからは、見た目から見ても身体も対応するの

いいし、身体も対応するの

あります。子どもの『水』のエネルギーで情熱のある『火』のエネルギー、65歳くらいからは、見た目から見ても身体も対応するの

いいし、身体も対応するの

あります。子どもの『水』のエネルギーで情熱のある『火』のエネルギー、65歳くらいからは、見た目から見ても身体も対応するの

いいし、身体も対応するの

あります。子どもの『水』のエネルギーで情熱のある『火』のエネルギー、65歳くらいからは、見た目から見ても身体も対応するの

いいし、身体も対応するの

あります。子どもの『水』のエネルギーで情熱のある『火』のエネルギー、65歳くらいからは、見た目から見ても身体も対応するの

いいし、身体も対応するの

あります。子どもの『水』のエネルギーで情熱のある『火』のエネルギー、65歳くらいからは、見た目から見ても身体も対応するの

いいし、身体も対応するの



ク表で自分のタイプを確認してください。直感に従ってやってください。自分はこういうタイプだなと分かることが大切です。ポイントは、どうやってバランスを取るかです。バランスを取り取るのに食事は大きな手助けになります。これから季節は、だんだん寒くなっていくし、時代的に『水』が足りないので、『水』のエネルギーを入れていく人が多いです。男性は『ピッタ』が入ってくる人が多いです。

肉体の部分で言うと、『ヴァーダ』は思考、宇宙とつながっているものです。『ピッタ』は消化力とか筋肉、心臓。その中でも代表的なところは消化力です。『カバ』はエネルギーはホルモンとか分泌物、子宮、腎臓です。

年齢の持つ性質もあります。子どもは『水』のエネルギー、30歳から65歳くらいまでは一番エネルギーで情熱のある『火』のエネルギー、65歳くらいからは、見た目から見ても身体も対応するの

いいし、身体も対応するの

あります。子どもの『水』のエネルギーで情熱のある『火』のエネルギー、65歳くらいからは、見た目から見ても身体も対応するの

いいし、身体も対応するの

あります。子どもの『水』のエネルギーで情熱のある『火』のエネルギー、65歳くらいからは、見た目から見ても身体も対応するの

いいし、身体も対応するの

あります。子どもの『水』のエネルギーで情熱のある『火』のエネルギー、65歳くらいからは、見た目から見ても身体も対応するの

いいし、身体も対応するの

あります。子どもの『水』のエネルギーで情熱のある『火』のエネルギー、65歳くらいからは、見た目から見ても身体も対応するの

いいし、身体も対応するの

あります。子どもの『水』のエネルギーで情熱のある『火』のエネルギー、65歳くらいからは、見た目から見ても身体も対応するの

いいし、身体も対応するの

国際理解講座 スリランカの漁村から平和をつくり出す人々

2004年の大津波や26年に及んだ内戦の終結などを経て、今、スリランカの人々は、どんな課題を抱え、どのように乗り越えようとしているのか？マスコミやネットからでは伝わってこない声を聞いてみませんか？

日 時 12月4日(水)13時30分～15時30分
場 所 北名古屋市コミュニティセンターホール
講 師 フランシス・ブリヤンカラ
定 員 30名 定員になり次第締め切ります
参 加 料 無料

※この講座は、公益財団法人アジア保健研所(AHI)との共催で実施します。



第8回アジア太平洋フェスティバル

アジア太平洋諸国との交流の場として、市民手づくりにより開催します。「アジア太平洋を観て、知り、食す」をテーマに、インドネシアにスポットを当てた国際交流イベントです。

日 時 令和2年2月8日(土)10時から15時30分
場 所 北名古屋市文化勤労会館
プロограм バリ舞踊とガムランなど、インドネシアの文化から歴史・経済まで幅広く紹介し、交流を深めます。このフェスティバルは「市民参加」と「オープンな運営」を基本に進めています。協会ボランティアによる運営企画会議がアイデア出しから、企画運営まで市民が主役となって進めます。



各種 申し込み お問い合わせ 等は下記までお願いします。

〒481-8531 北名古屋市西之保清水田15番地 北名古屋市役所西庁舎4階

北名古屋市国際交流協会

TEL 0568(22)1111 内線2400 FAX 0568(25)1800

Eメール info@kitanagoya-kiia.jp ホームページ http://www.kitanagoya-kiia.jp
 フェイスブック https://www.facebook.com/kitanagoyakiia/

私たちの国際交流

私は、民間の経済交流の訪問団の一員として、明日から韓国に入り、緊迫化します。(小稿は10月3日執筆)初春に訪問決定市を訪問して、この半年余りの間に、日韓の外交レベルでの緊張は、戦後最悪と言われるほど高まりてしましました。

訪問団の中でも訪問を延期すべきかななど、いろいろな議論がありました。私は一貫して、こういう時期だからこそ、民間レベルの交流は計画どおり実施するべきだと考えていました。

そのように考えた大きな理由は、2017年11月に、北名古屋市「草の根交流海外派遣団」の一員として、韓国務安部を訪問した経験が大き

多様な交流の重要性

九之坪 田中 健二

私は、民間の経済交流の訪問団の一員として、明日から韓国に入り、緊迫化します。(小稿は10月3日執筆)初春に訪問決定市を訪問して、この半年余りの間に、日韓の外交レベルでの緊張は、戦後最悪と言われるほど高まりてしましました。

一方、私たちが訪問し、実際の目で見た韓国の市民の生活は非常に落ち着いたようすで、緊迫した雰囲を感じることはなく、非常に友好的な穏やかな交流がでました。

現在の状況は、緊張感の質、レベルも違いますが、外交、経済交流、市民交流など多様なレベルで、かつ重層的なつながりを保ち、多くのチャンネルを持つことが、国際関係においては非常に重要なことだと経験上、強く感じていますので、今回の視察、交流を通じて、相互理解と友好が深まる訪問にしたいと考えています。

掲載されることには、そのような目的を達成して、笑顔で帰国したことを報告できると信じております。